



■新商品のご案内■

なめがたブランド戦略会議では、農畜水産物を使用した商品づくりや企業とのタイアップをおこなっています。令和2年度の新商品をご案内します。

【スイーツポテトクッキー】

(株) 亀印製菓とのタイアップにより、行方産サツマイモを使用したクッキーが販売されました。サツマイモを輪切りにした丸い形のクッキーです。サククリとした食感で、サツマイモの香りと甘さが楽しめます。

価格: 10枚入り 700円(税別) 販売店: 観光物産館こいこい、亀印製菓店舗 など



【NAMEGATA BEER 行方の紫福】

紫いもの新品種「ふくむらさき」を使用したクラフトビールです。令和2年4月より販売したところ、好評につき完売。令和2年度産のふくむらさきを使用したビールを醸造し、現在販売中です。このビールは口に含んだ瞬間に複雑でフルーティーなエステル香を感じ、最後にふくむらさきの上品な香りが広がります。第2弾の今回は、原料を焼き芋とし、香ばしさをプラスしています。

価格: 1本 500円(税込) 販売店: 観光物産館こいこい、楽郷、一部セブン-イレブン など



【行方の米ぶた丼・行方の米ぶたカレー(レトルト)】

行方産米豚を使用したレトルト食品です。米ぶた丼は、複数の肉の部位を使用し美味しく感じる肉のブレンド黄金比率を追求。また、沖洲地域の玉ねぎを加え、肉のガッツリ感と野菜のまろやかさを出しています。米ぶたカレーは、観光物産館こいこいのフードで提供されていたものを商品化しました。米豚の旨味が感じられる商品です。

価格: 各 500円(税込) 販売店: 観光物産館こいこい、楽郷、コテラス など



ECサイト ~おいしい行方、ネットで買えます。~
【なめがたさんちの特選マルシェ】 OPEN!!

行方市の美味しいものがたくさんつまった、ECサイト「なめがたさんちの特選マルシェ」が開設されました。上記の新商品を始め、野菜や湖魚(かわざかな)、芋焼酎、お菓子なども販売されています。ぜひサイトにお立ち寄りいただくと共に、行方の特産品が欲しい方にご紹介ください。



<https://www.namegatasanchino.com>

なめがたさんちの特選マルシェ 検索





11月9日（水）麻生庁舎にて伝達書授与が行われました



献穀された精米（左）と精粟（右）

令和最初の新嘗祭に、行方市の米と粟^{あわ}を献穀しました

新嘗祭^{にいなめさい}とは、その年の新穀をお供えし、収穫に感謝する儀式のことで、毎年11月23日の勤労感謝の日に皇居で行われ、宮中祭祀^{みやちうさいし}の中で最も重要とされています。

使用する新穀は47都道府県から献穀されており、令和最初となる今年の新嘗祭は、茨城県を代表して本市が担当となりました（令和元年は大嘗祭が行われており、令和2年の新嘗祭が令和最初の新嘗祭となります）。選考委員会にて、精米献穀者に鈴木啓一さん（五町田・JAなめがたしおさい米づくり研究会 産地指定部副会長）、精粟献穀者に本澤政雄さん（小貫・行方市農業委員会 農地利用最適化推進委員）の2人が選ばれました。今年の新嘗祭の献穀は、新型コロナウイルスの状況に鑑み、輸送にて、鈴木さんのコシヒカリ（米）1升と本澤さんの大和ウルチ（粟）5合を奉納しました。

—昨年献穀を行った東海村から引継ぎを受けた本市では、5月に鈴木さんが「コシヒカリ（米）」の田植えを、本澤さんは「大和ウルチ（粟）」の種まきを行い、丁寧に心を込めた栽培を始めました。梅雨の長引きによる日照不足から一転しての猛暑の影響なども心配されましたが、9月には米・粟ともに無事に収穫を終えることができ、収穫後は関係者らが精米した米と粟の中から、よりきれいな粒を選ぶ作業を2週間かけて行いました。



本市出身の小説家 額賀 滯さん

寄附楽器の贈呈式が行われました

行方市楽器寄附ふるさと納税

11月6日（金）、楽器寄附ふるさと納税により市内の各中学校にご寄附をいただいた、寄附楽器の贈呈式が北浦中学校体育館で開催されました。

楽器寄附ふるさと納税は、全国のご家庭で使われなくなった楽器を、ふるさと納税制度を活用してご寄附いただくものです。

寄附者は楽器の査定額が税制上の寄附額となり税金が控除される仕組みで、本市では、4月3日（金）から茨城県内初の取り組みとして寄附の受け入れを開始しました。これまで、クラリネットやトランペット、アルトサクソなど15件の楽器が寄せられています。高額な楽器を新たに購入するのは難しく、古くなった楽器を修理しながら使い続けている状況下、寄附をいただくことで、楽器不足が解消されるだけでなく、生徒たちも、自分たちの教育活動が多くの方に支えられていることを知る学びの機会にもなっています。

贈呈式では、各中学校の代表生徒に寄附された楽器が贈呈されたほか、本市出身の小説家で、ご自身も学生時代に吹奏楽部に所属されていた額賀 滯さんから、吹奏楽部で活躍する生徒にメッセージが贈られました。最後は贈られた楽器も使用して、北浦中学校吹奏楽部より寄附者の皆さまへ感謝の演奏が行われました。

楽器寄附ふるさと納税公式サイトでも、贈呈式の様子がご覧いただけます。

■楽器寄附ふるさと納税公式サイト <https://www.gakki-kifu.jp/>





清掃活動を実施しました 行方ライオンズクラブ

11月15日(日)、行方ライオンズクラブ(藤咲浩会長)の会員が、山田地区(国道354号周辺)の清掃活動ボランティアを行いました。

参加者は、燃えるごみと燃えないごみなどの分別をしながら、周辺のごみを拾い集めました。

藤咲会長は「本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していた事業が実施できませんでした。今回、少しでも皆さんのお役に立つことができればと思い、清掃活動を実施しました」と話しました。



分かりやすくSDGsを学びました 環境講演会を開催

環境保全行方市民会議では、国連の定める持続可能な開発目標「SDGs」を分かりやすく学んでもらおうと、11月5日(木)に北浦中学校2年生を対象に環境講演会を開催しました。

講師には、お笑い芸人のエルシャラカーニさんをお招きし、テンポ良いトークで笑いあふれる講演会となりました。

行方市環境基本計画に基づく環境教育および環境学習の一環として、環境を守るため自分は何ができるかを考える良い機会となりました。

【公益信託「エコーいばらき」環境保全基金から助成を受けて事業を開催】



東関東自動車道安全衛生連絡協議会の皆さんによる地域貢献活動

市内の各幼稚園・小中学校で消毒ボランティア

このたび、地域貢献活動の一つとして、新型コロナウイルス感染防止のために教育施設で実施されている校内消毒作業を支援しようと、標記連絡協議会の皆さんが消毒作業のボランティアを行っています。

同連絡協議会の大宅峻介会長が、地域の皆さんのために自分たちに何かできることはないかと考えていたときに、市報に掲載されていた消毒ボランティア募集記事を見て、この事業へ協力しようと参加を決めました。

活動は、11月から令和3年2月まで計8回行われます(下記参照)。活動に登録して下さっている方は現在50人となり、1校あたり4~5人の方が、約1時間の消毒作業を行っています。

○ボランティア活動場所

- 幼稚園(麻生幼稚園、玉造幼稚園)
- 小学校(麻生小学校、麻生東小学校、北浦小学校)
- 中学校(麻生中学校、北浦中学校、玉造中学校)



東日本自動車道安全衛生連絡協議会 大宅峻介会長(右)

消毒用ウェットティッシュを寄贈

11月19日(木)、標記連絡協議会の大宅峻介会長が教育委員会を訪れ、市内の幼稚園ならびに小中学校へ、消毒用ウェットティッシュ2千個を寄贈しました。

消毒ボランティアと同様に、地域貢献活動の一つとして、各企業へ協力を呼びかけました。

大宅会長は「企業として何か地域に貢献したいと思った。ぜひ教育施設で役立ててほしい」と話していました。

【参加・協力企業】

株式会社大本組、日東エンジニアリング株式会社、株木建設株式会社、株式会社ピーエス三菱、川上建設株式会社、株式会社ユーディーケー、キムラ工業株式会社、昭和建設株式会社、川田建設株式会社、松崎建設株式会社、常総開発工業株式会社、大旺新洋株式会社、河本工業株式会社、関東建設マネジメント株式会社、日鋪建設株式会社(順不同)

本市の子どもたちや学校のために活動していただいている連絡協議会の皆さまに、心から感謝申し上げます。
ありがとうございます。



茨城県ダイバーシティ推進センター リニューアルオープン

誰もが個性と能力を発揮し多様性輝く社会に

茨城県の男女共同参画センターが、11月から名称を「ダイバーシティ推進センター」（愛称・ぼらりす）へ改称され、11月14日（土）、駿優教育会館にて、大井川和彦茨城県知事などが出席してオープニングイベントが開催されました。

愛称は、本市在住の羽鳥悦子さん（市男女共同参画推進委員会委員長）の作品が採用されました。「ぼらりす」は、夜空にある動かない北極星を意味し、ダイバーシティ（多様性）の考え方も、これからもずっと変わらないで、輝き続けてほしいという願いが込められています。

また、同イベントには、本市でウコッケイの卵を使ったこだわりのマヨネーズを生産している大久保芙有花さん（茨城農女ファーム代表）もトークセッションのゲストとして参加しました。



第1回協働指針策定委員会 市民が主体の社会づくり

11月17日（火）、麻生庁舎にて行方市協働指針策定委員会（羽生優委員長）の初会合が行われました。

委員会は、地域関係団体、地域活動団体、市内企業、市議会議員の代表および一般公募など、合計8人で構成されています。

今後の活動として、協働指針の策定をはじめ、市民と行政がそれぞれの能力や経験を生かしながら、対等な立場で責任と役割分担のもとに連携・協力する仕組みの検討を行っています。



教育委員会委員
滝恵美子氏（中央）



固定資産評価審査委員会委員
（左から）近藤芳子氏、
大曾根崇氏、椎名繁氏

教育委員会委員・固定資産評価審査委員会 委員がそれぞれ任命、選任されています

教育委員会委員（任命）・固定資産評価審査委員会委員（選任）が、議会の同意を得て市長から任命・選任されています。

教育委員会委員の任期満了により滝恵美子氏が再任されました。任期は、令和2年12月1日から令和6年11月30日までの4年間です。

固定資産評価審査委員会委員の任期満了により椎名繁氏が再任されました。また、鬼澤行雄氏、根本光江氏が退任され、後任には、新たに大曾根崇氏、近藤芳子氏が選任されました。任期は、令和2年12月1日から令和5年11月30日までの3年間です。

- ・教育委員会委員 滝 恵美子氏
- ・固定資産評価審査委員会委員 椎名 繁氏
- ・固定資産評価審査委員会委員 大曾根 崇氏
- ・固定資産評価審査委員会委員 近藤 芳子氏



第1回男女共同参画推進委員会 男女共同参画社会の推進に向けて

11月16日（月）、麻生庁舎にて行方市男女共同参画推進委員会（羽鳥悦子委員長）の委員改選に伴う初会合が行われました。

委員会は、男女共同団体関係者、企業関係者など男女3人ずつ合計6人（うち4人が再任）で構成されています。

今後の活動として、男女が性差にとらわれず暮らしやすい社会づくりを目指すために、市施策の進捗状況の評価、啓発活動およびネットワークづくりを行っています。



優秀教職員ティーチャー オブ ティーチーズとして表彰 麻生中教諭 関口喜昭先生

麻生中学校教諭 関口喜昭先生が、優秀教職員ティーチャー オブ ティーチーズ (TOT) として、茨城県教育委員会から表彰されました。TOT は、教育活動において顕著な成果を上げ、人格・見識共に優れた他の教職員の模範となる教職員に贈られるものです。

これまでの関口先生の外国語教育に関する研究や指導力向上に向けた取り組みの他、ハワイ大学での研修、茨城県英語教育専門指導員を務めたことなどが高く評価されました。1月には、文部科学省から表彰される予定です。

教育活動の充実に向け、関口先生のますますのご活躍を期待します。おめでとうございます。



水質浄化キャンペーンを開催 行方市家庭排水浄化推進協議会

行方市家庭排水浄化推進協議会では、霞ヶ浦・北浦の水質の現状について認識を深め、水質浄化を図り、環境に優しい地域づくりを目指しています。

11月21日(土)、ベイシア玉造店において、洗剤のいらぬアクリルタワシを使用していただき、家庭での排水を浄化することを目的に、来店客への啓発活動を実施しました。

アクリルタワシを受け取った方からは「一人一人の心掛けが大切ですね。このタワシを早速使ってみます」との声が聞かれました。



▶洗剤のいらぬアクリルタワシ
(会員の手作りです)



園外保育で玉造公民館を見学 玉造幼稚園児と先生方

玉造幼稚園では、昨年4月から玉造公民館の玄関に四季折々の作品を展示しており、公民館を訪れる方々に癒しと感動を与えています。

11月18日(水)、園児たちが玉造公民館を訪れ、自分たちの作品や展示物を興味深く見学しました。

高野道子園長は「地域の中に、子どもたちの作品を飾ってもらう場所があることは幸せに思います。これからも子どもたちが、地域の温かい心に触れることを大切にしていきたい」と話し、玉造公民館を管理しているシルバー人材センターの石田理事長と飯田光子さんは「これからもこの交流が続き、ご家族の方も公民館を訪れてくれたらうれしいです。子どもたちの生き生きとした作品は、公民館を楽しい場所にしてくれています」と話しました。



一般社団法人日本ムービングハウス協会
佐々木信博代表理事(右)

応急仮設住宅の災害時整備へ 包括連携協定を締結

11月20日(金)、本市は、一般社団法人日本ムービングハウス協会と「災害時における応急仮設住宅(移動式木造住宅)の建設に関する協定」および「包括連携協定」を締結しました。

ムービングハウスは、一般住宅や事務所として利用できるほか、移動可能で短時間で設置ができることから、災害時の仮設住宅としても利用できます。

今回の協定は、市内において災害が発生した場合に、同協会がムービングハウスの整備に尽力し、市民の生活再建に寄与することを目的としています。また、あわせて相互の連携および協力により、それぞれの人的・物的資源を活用し、地域の発展と市民サービスの向上に努めます。

2020 ディンギーレース

9月20日(日) 霞ヶ浦

【優勝】小峰 実(シーホッパー) 【準優勝】岡里寛士(シーホッパー)
 【第3位】毛藤法夫(シーマーチン) 【第4位】磯山義秀(シーホッパー)
 本部艇 遠藤・三村

2020 セーリングクルーザーレース年間総合成績

天王崎 STG (セイルトレーニンググループ) レースは2020年で4年目となり、7月から11月の第1日曜日に霞ヶ浦にて実施されました。

【優勝】水月 毛藤法夫
 【準優勝】さつき Jr 遠藤俊雄
 【第3位】レッドファルコン 小峰 実
 【第4位】天王 石神 博
 【第5位】つすみⅡ 岡里寛士
 【第6位】ワイルドウィンド 堀川 洋
 【第7位】YAMAHA23 白幡 康

第38回行方市近隣サッカー大会

10月31日(土) 北浦第1グラウンド他

【優勝】玉造 FC 【準優勝】鉾田 SSS 【第3位】旭 SSS
 【第3位】土合 FC 【最優秀選手】玉造 FC 坪井草心

第16回(令和2年度)行方市体協クレ射撃大会

11月7日(土) 茨城県狩猟者研修センター射撃場(笠間市)

【優勝】小倉利夫 【準優勝】宮内栄一 【第3位】前川正明

ソフトボール連盟杯後期大会

11月15日(日) 北浦第2グラウンド

【優勝】マルミ 【準優勝】グロリアス
 【第3位】新宮同志会 【第4位】キングスターズ

第3回連盟ゴルフ大会

11月18日(水) ノースショアカントリークラブ

【優勝】高野直樹 【準優勝】並木文男 【第3位】山崎 宏
 バストグロス 第9位 渡邊康夫(75)

行方市民インディアカ大会

11月28日(土) 北浦運動場体育館

【優勝】ピンキーズC 【準優勝】ピンキーズA 【第3位】ピンキーズB

行方市麻生杯柔道交流大会

11月28日(土) 麻生運動場体育館

中学生男子軽量の部 【優勝】小見優翔(誠道塾)
 中学生男子重量の部 【優勝】関野龍成(成柔館)
 中学生女子の部 【優勝】小見優華(誠道塾)
 小学6年生の部 【優勝】石神 煌(麻生)
 小学5年生の部 【優勝】大原大毅(鉾田)
 小学4年生男子の部 【優勝】田中 湊(麻生)
 小学4年生女子の部 【優勝】安田彩乃(鉾田)
 小学3年生混合の部 【優勝】辺田瑛馬(成柔館)
 小学2年生混合の部 【優勝】田中暖人(麻生)
 小学1年生混合の部 【優勝】谷藤優翔(成柔館)



鹿行農林事務所長から感謝状贈呈 鹿行管内多面的機能支払交付金長期活動組織

11月25日(水)、鹿行農林事務所長から鹿行管内多面的機能支払交付金長期活動組織への感謝状が贈呈されました。

天掛自然を守る会(菅谷光弘会長)の皆さんは、10年以上にわたり、農地や農業用施設の適切な保全管理や持続的な保全管理体制の構築を目的に、取り組みを行っています。組織において、水路の草刈りや補修・植栽や清掃活動など、地域の皆さんと一体となって活動しています。

令和2年なめがた狂歌年間特別賞入選者

なめがた狂歌の年間特別賞入選者が決定しました。受賞作品は、市ホームページからご覧いただけます。たくさんのご応募ありがとうございました。

賞	受賞者名	住所・所属
茨城県知事賞	横川汐音	日本体育大学
行方市長賞	関川愛子	行方市
行方市議会議長賞	菊池佳代子	水戸市
行方市教育委員会教育長賞	山口桃佳	麻生小学校
羽生成一郎選者賞	小野みふ	東京都
前野平八郎選者賞	関健太郎	麻生小学校
菅谷千明選者賞	高野三千春	行方市
秀逸(18人20首)	平山なか	行方市
	渡辺加代子	鉾田市
	瀧崎美子	行方市
	下城さち	大阪府
	照沼早智子	東海村
	穂刈 敏	北海道
	松塚悦子	竜ヶ崎市
	二宮正博	福岡県
	菊池佳代子	水戸市
	海老沢幸子	土浦市
	佐々木美知子	埼玉県
	太田香江子	潮来市
	町田和義	つくば市
	荒野一郎	行方市
	平松樹亜	日本体育大学
鬼澤由充	日の出中学校	
瀧ヶ崎真菜	玉造小学校	
齊藤夏希	日の出小学校	